



発行元
社会福祉法人創樹会
広島県福山市水呑町7187番地1
TEL (084)956-0255
FAX (084)956-5749

朝晩に加え、日中も冷える日が増えてきました。いよいよ秋本番です。日々新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組んでいる皆様や事業所の皆様、真夏の疲れが残る時期ではあります。が、いかがお過ごしでしょうか。

さて、「秋といえば?」と聞かれたら皆さんはどうな答えが出てくるでしょう。

過ぎごしやすい季節になり、「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」など、イベントや旅行を楽しみにされていた方も沢山いたこと思います。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で残念な秋となってしまいました。

東京オリンピックは延期となり、広島県内でも様々なイベントが自粛や中止、縮小となり、皆様の楽しみも随分と制限されているのではないかでしょうか。例えば、広島県の東部地区では親善球技大会や親善スポーツ大会が中止となり、これまで大会に向けて準備をされてきた皆様や、一年に一回の祭典で会うことを楽しみにされていた皆様にとっても、大変悔しい一年になつたと思われます。

当法人では、三大行事で毎年四月に開催してきた「創樹祭」を中止としましたが、「はじめまし展」の開催には、万全な感染予防対策を行い七月「十五日～八月三十日まで開催する」ことが出来ました。期間中に「来館下さいました皆様、誠にありがとうございました。また、もう一つの伝統行事、十一月開催予定としていますが、今後の感染状況を見ながら検討したいと思っております。

それ以外の行事につきましては、どのような工夫でどうすれば行うことが可能なのか、開催内容を検討しながら「いのちの日の集い」、「学生に向けた事業所見学会」、各事業所での「親子行事」や「夏祭り」「ふうりんの集い」などを、感染症予防対策を行なながら開催することが出来ました。

新型コロナウイルスによる外出自粛生活によつて、私たちの暮らしは大きく変わりました。それは事業所を利用される皆さんも同じです。「さくら」を利用されている在宅の方からこんな話を伺いました。毎月一回相談事業所で行われている風ぐるまの集いがコロナの影響で中止となり、「コロナのせいでどこにも行かれんし、集いが出来なくて楽しみも無いし、イライラしてるとんじや」とのこと。改めて私たちスタッフが出来るることは何だろうか、もっと利用されている皆さんに向き合わなければならぬと感じた瞬間でした。

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念される秋冬に向け、私たちにできることは、感染症に対する正しい理解とこれまで同様に三密を避け、手洗いやマスク着用などを続けることだと思います。「新しい生活様式」を継続していく中で、「うつらない!」「うつさい!」を一人一人がしっかりと自覚しながら、ウズコロナの時代を上手に工夫しながら、乗り越えていきましょう。

「コロナに負けず ONE TEAM」

ぶちええわ!

コロナに負けるな!
3密避けて楽しい秋ってぶちええね!

さくらのお祭り♪

9月17日さくらではコロナ禍の中、「ちょっと遅めの夏祭り」を開催しました!

お好み焼きに、おにぎり、フランクフルトと焼き鳥の屋台もOPEN。

練乳やあんこがたっぷりかかったふわふわのかき氷にみんな大満足!

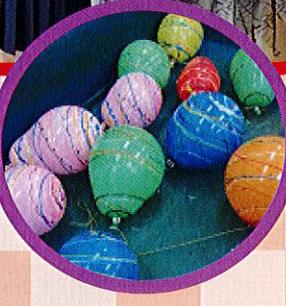
射的もヨーヨー釣りもとっても難しいね・・・。

ああ、もうちょっとなのに! おいしい!

くじ引き大会では、なんと!!! ハズレ無し!?

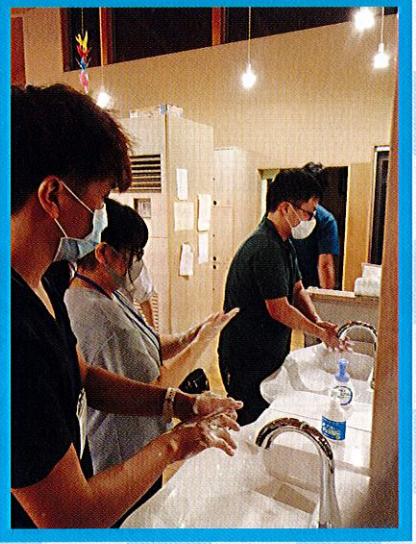
豪華景品は誰の手に・・・?

利用されている皆さんもスタッフも皆、笑顔が満開に咲いたイベントになりました!



新任研修

9月24日、新任研修を行いました。新任スタッフ二人と先輩スタッフたちが集まり、アイスブレイクやグループワークを通して盛り上がりました。コロナウイルスの影響で例年通りの研修は行えませんでしたが、各部署からスタッフが集まり交流を深め日頃の思いを話し合ったりと、楽しい時間を過ごすことができました。今日の研修が、明日への元気につながりますように。



社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp>) fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp)

事業所一覧

福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)(日中一時支援事業)

あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)

サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)

サポートセンターかなで(日中サービス支援型共同生活援助)(短期入所)

さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)

ヘルパーステーションあしづと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)

ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス)(日中一時支援事業)(障がい児療育等支援事業)

ふあんたす(放課後等デイサービス)

相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)

さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)

あとがき

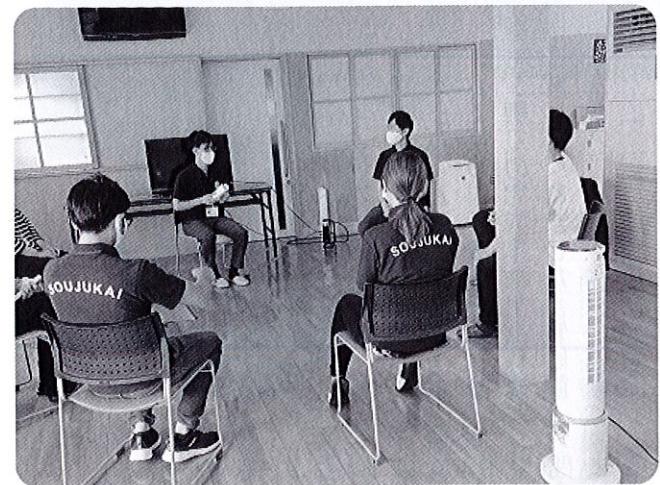
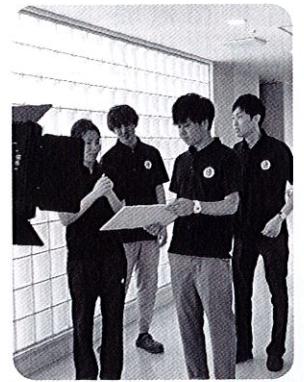
少しずつ涼しくなってきておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか?

コロナに台風対策など色々大変なことが続きますが、健康で安全な、楽しい秋を送られることを祈念いたします。

(編集スタッフ一同)

八月十一日、この日は平成十年にデイサービスの海での行事中の事故で亡くなった方の魂を弔い、「一度と繰り返さないよう」と誓いを新たにするための大切な一日です。今年は残念ながら、新型コロナウイルスの影響により大人数で集うことができず、例年とは違う形の「一日」となりました。集いは密を避けるため、あゆみ苑成人寮・福山六方学園他の利用者の皆さんは代表者のみの参加となり、例年に比べ、静かな式となりました。

八月十一日、この日は平成十年にデイサービスの海での行事中の事故で亡くなった方の魂を弔い、「一度と繰り返さないよう」と誓いを新たにするための大切な一日でした。例年であれば、その後に、救命法講習や研修会などが行われるのですが、コロナへの配慮をし、実施を見送りました。ですが、当時を振り返り、みんなで一緒に思いを馳せる集いだけは今年も行えました。これからも、この日の意味、そして命の大切さをスタッフ全員で考えて行きたいと思います。



申込をすると、参加決定のお知らせが届き、その後は時間を見つけては打合せを重ね、あつとあつと撮影当日。お揃いのボンバーシャツに身を包んだスタッフがインタビューを受けます。緊張感が漂いながらも一生懸命答えていた姿に、見ていてこちらもほっこりした気持ちになりました。撮影は和やかに終了しました。完成動画は、FUKUSHI-HIROSHIMA JOB CHANNELでは是非ご覧ください。

これからも「生活を支える仕事を様々な角度から、皆さまに紹介していきたい」と思っています。求人活動をしていると、「生活支援員とは、どのような仕事をですか?」という質問を受けることがあります。その名の通り生活を支える仕事ですが、「生活」の範囲がとても広いため、イメージを描くのが難しいかもしれません。百聞は一見に如かずで、実際にスタッフが働く職場を見学して頂けるといでのですが、なにせこのコロナ禍。一般の方が入ることができるのは開催できません。また、外部の就職説明会も軒並み中止となっています。そんな折、合同就職説明会のWEBサイト「FUKUSHI HIROSHIMA JOBチャンネル」を開設ニュースが届きました。すぐに

申込をすると、参加決定のお知らせが届き、その後は時間を見つけては打合せを重ね、あつとあつと撮影当日。お揃いのボンバーシャツに身を包んだスタッフがインタビューを受けます。緊張感が漂いながらも一生懸命答えていた姿に、見ていてこちらもほっこりした気持ちになりました。撮影は和やかに終了しました。完成動画は、FUKUSHI-HIROSHIMA JOB CHANNELでは是非ご覧ください。

これからも「生活を支える仕事を様々な角度から、皆さまに紹介していきたい」と思っています。求人活動をしていると、「生活支援員とは、どのような仕事をですか?」という質問を受けることがあります。その名の通り生活を支える仕事ですが、「生活」の範囲がとても広いため、イメージを描くのが難しいかもしれません。百聞は一見に如かずで、実際にスタッフが働く職場を見学して頂けるといでのですが、なにせこのコロナ禍。一般の方が入ることができるエリアを最小限に制限しているため、これまでのような施設見学は開催できません。また、外部の就職説明会も軒並み中止となっています。そんな折、合同就職説明会のWEBサイト「FUKUSHI HIROSHIMA JOBチャンネル」を開設ニュースが届きました。すぐに

このコロナ禍の状況で、どう説明会を行うかについて意見交換を重ねながら七月十九日に職場説明会を行いました。四名の参加者を迎えて、換気や消毒、ソーシャルディスタンスに配慮し、会場は通所施設の「さわらび」で行いました。通常なら複数の施設を見学するのですが、今回は職員がこの日のために準備した紹介DVDで施設紹介を行いました。先輩職員との座談会では、「給料について」や「入所施設と通所施設の違い」など多岐にわたる質問があり、答える側は大慌てで大変盛り上がりました。

今回は、職場説明会を行いましたが、今後どのような形で法人PRをしていくか:「コロナ禍だからこそしっかりと考えていきたいと思います。

昨年度、利用者が床で肘を打つて怪我をするという事故がありました。事故報告をした福山市から聞き取りがありましたが、その中で『床の硬さの改善』という環境面の整備についての指摘がありました。この件以外にも、利用している子ども達が走っていて、滑つてこけるといふこともあつたため、怪我に繋がる床の硬さに対する改善を、環境整備の中での最優先課題として挙げていました。

今年度に入つてから業者選びに取りかかり、改修工事への準備を進めてきました。専門業者からの提案を聞きながら、床の素材や改修工事日程等を検討する中で、保護者の皆さまにもご協力いただき、九月十九日(二十一日)の三日間を休所とし、厚手のクッションシートを貼るというフロアの改修工事を行いました。

建物内全ての床の改修ではありませんが、普段過ごす時間が長い「階フロアの硬さを改善することができます」。環境面だけでなく、スタッフの対応というソフト面も含め、子ども達により安全な活動を提供できるよう取り組んでいきます。

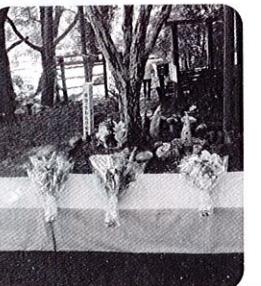
ONE-すてっぷ 中常 克彦

昨年度、利用者が床で肘を打つて怪我をするという事故がありました。事故報告をした福山市から聞き取りがありましたが、その中で『床の硬さの改善』という環境面の整備についての指摘がありました。この件以外にも、利用している子ども達が走っていて、滑つてこけるといふこともあつたため、怪我に繋がる床の硬さに対する改善を、環境整備の中での最優先課題として挙げていました。

今年度に入つてから業者選びに取りかかり、改修工事への準備を進めてきました。専門業者からの提案を聞きながら、床の素材や改修工事日程等を検討する中で、保護者の皆さまにもご協力いただき、九月十九日(二十一日)の三日間を休所とし、厚手のクッションシートを貼るというフロアの改修工事を行いました。

大切な人を守るために……

当法人では、利用者さんの命を守るために、災害への訓練や研修を実施しております。



あゆみ苑成人寮

山口 美穂

●あゆみ苑成人寮
八月二十八日、二十一時にあゆみ苑成人寮に集合し、夜間避難訓練を行いました。今回は例年と違い、コロナへの懸念もあり玄関でミーティングを行いました。それと同時に消火器の講習会も行いました。講習会では消火器を使ったことがないというスタッフも半数近くおり、改めて使い方と、保管場所の確認ができました。

そして避難訓練を開始する前に林施設長より、「災害から利用者さんの命を守るためにのとても大切な訓練です」という話があり、身の引き締まる思いで訓練に臨みました。

福山六方学園

野元 亜衣

八月十一日、この日は平成十年にデイサービスの海での行事中の事故で亡くなった方の魂を弔い、「一度と繰り返さないよう」と誓いを新たにするための大切な一日でした。例年であれば、その後に、救命法講習や研修会などが行われるのですが、コロナへの配慮をし、実施を見送りました。ですが、当時を振り返り、みんなで一緒に思いを馳せる集いだけは今年も行えました。これからも、この日の意味、そして命の大切さをスタッフ全員で考えていきたいと思います。

二十二時にスタッフルーム内の非常ベルを行いました。スタッフは、「二十一時」二十分にあゆみ苑成人寮に集合し、配置、注意事項の確認をしました。中には初めて参加するスタッフもあり、細やかに連携をとりました。

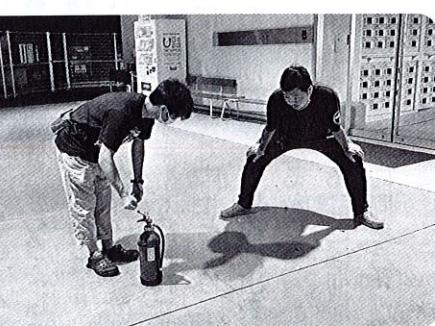
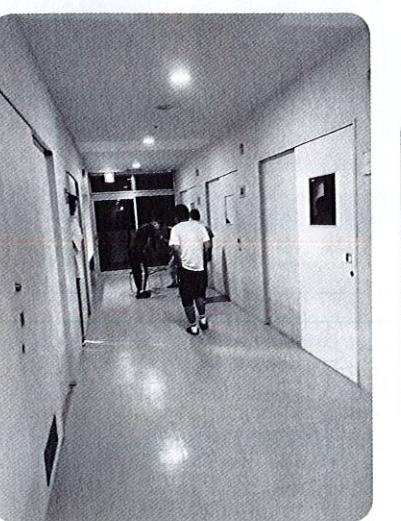
八月二十四日の二十一時に夜間避難訓練を行いました。スタッフは、「二十一時」二十分にあゆみ苑成人寮に集合し、配置、注意事項の確認をしました。中には初めて参加するスタッフもあり、細やかに連携をとりました。

二十二時にスタッフルーム内の非常ベルを鳴らし、二階食品庫から出火したという想定で避難を行いました。スタッフは、「二十一時」二十分にあゆみ苑成人寮に集合し、配置、注意事項の確認をしました。中には初めて参加するスタッフもあり、細やかに連携をとりました。

二十二時にスタッフルーム内の非常ベルを鳴らし、二階食品庫から出火したという想定で避難を行いました。スタッフは、「二十一時」二十分にあゆみ苑成人寮に集合し、配置、注意事項の確認をしました。中には初めて参加するスタッフもあり、細やかに連携をとりました。

いのちの日

夜間避難訓練



あゆみ苑成人寮 山下 和朗

二十二時に二階の非常ベルを鳴らし、二階食品庫から出火したという想定で避難を開始しました。夜間に非常ベルが鳴り、皆さんびっくりされながらも、真剣な顔で、落ち着いて避難をされ、問題なくベランダへの避難を完了することができました。

この訓練を忘れることなく、いざというときのために落ち着いて行動できるよう、これからもスタッフ一同、励んで行きたいと思います。

夏 まつり・がいしゅつ

福山六方学園、あゆみ苑、友の家、ふあんたす、ひびきの家

そして、外出の朝のその男の子の発言。決行することにして良かつたと思つた瞬間でした。帝釈峠までの約一時間半強の長い道のりも、お友達と出かけられる楽しさを感じながら、帝釈峠・水辺公園に到着。逸る気持ちを押さえながら、スタッフとの約束やマナーを守つて楽しく過ごすことができました。特に盛り上がったのが、魚釣りと川遊び。魚を食べたい人は、自分で釣つて、内臓の処理まで自分で行わなければいけないという水辺公園のルール。魚釣りはしたけれど、生きている魚には触れないという子も多い中、大人顔負け



ふあんたす

「フワガとまらない！」ふあんたす
恒例、夏の外出の朝、ある男の子
がそう言いながらやつてきました。
今年は、新型コロナウイルスの
影響により、学校でも地域でも、
色々なことに制限がかかつっていた
八月初旬。ふあんたすでも、外出
活動をどうするべきか悩み、考え
てきました。しかし、自粛生活に
より、今もストレスを受け続けて
いる子どもたちから、これ以上樂
しみを奪いたくないというスタッ
フの思いと、屋外での活動で三密
を防げ、外部の方との接触もほと
んどないという理由で、感染対策
を最大限に行い予定通りに外出す
ることに決めました。

けの手さばきで割りばしを使って内臓を取ってくれる子が数名いて感激しました。自分で格闘した焼き立ての魚のおいしさといつたら格別でした！それから、公園の中を流れる小川での川遊び。氷水くらいで冷たく感じる水の中で水を掛け合つたり、石を積み上げたり、川の奥まで探検に行つたり。いつもは大人しく遊んでいる子もはしゃいで遊んでおり、意外な一面が見られた貴重な機会でした。

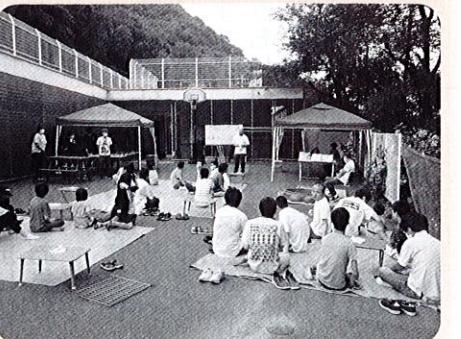
けの手さばきで割りばしを使って内臓を取ってくれる子が数名いて感激しました。自分で格闘した焼き立ての魚のおいしさといったら格別でした！それから、公園の中を流れる小川での川遊び。氷水くらいで冷たく感じる水の中で水を掛け合つたり、石を積み上げたり、川の奥まで探検に行つたり。いつもは大人しく遊んでいる子もはしゃいで遊んでおり、意外な一面が見られた貴重な機会でした。

福山六方學園

夏祭り最後の締めとして、手持ち花火や小規模の打ち上げ花火を行いました。花火が怖くてスタッフの後ろからそっと覗かれる方もいれば、「見て！ とっても綺麗だよ！」と喜ばれる方もいらっしゃいました。

表情良く過ごされ、「またやりたい！」と言つて頂けてスタッフも嬉しく思えた行事でした。

福山六方学園 野元 亜衣



SUMMER MEMORIES

「口ナ禍で、思うようにお出掛けが出
来ませんが、笠岡ベイファームへ少人数
で行つて来ました。

そこには、お旦様に向かつて一斉に咲
いているひまわりが、まるで笑顔いっぽ
いで出迎えてくれているようでした。時
期的なこともあり、広々とした畑は沢山
の見物客で賑わっていました。私達は、
できるだけ人のいない所を見て回り、写
真をパチリ。名残惜しかったのですが、
短時間でそこを後にしました。

いつもは、ベイファーム特製のソフト
クリームを味わいながら、ペロペロなめ
ては溶けそうになると頬張つていました
が、今回は我慢して、帰りの車中でコン
ビニのジュースを「ゴクゴク」と。

今までとは異なったお出掛けのスタイル
となりましたが、久し振りということ
もあり、沢山のひまわりの花々に囲まれ
た楽しさもあり、皆さんもひまわりのよ
うに「ココ」でした。



151 門田 れいな

「口ナ禍で恒例行事も忘れてしまいそうになります。七月は七夕からスターします。これは対策がし易く、みんなが少しずつ参加でき、楽しそう。竹の調達は：学園の敷地内から。担当職員は、いい形の竹を求めて崖を上下、その日のうちに筋肉痛になりながらホーム彦山寮とコーポ洗浴に設置。それぞれのホームで飾り付けを作成し、交流会で短冊を作つて立派な七夕飾りの完成！ホーム林檎が中心になつて七夕飾りを作成してくれました。竹に飾つてみると一段と華やかになります。

交流会では「なに書こうかの？」「わしは「レジヤあ」「アレしかなかろうがあ」「何書いたらえん」「前、言つどたの書いたら？」「書くことないでえ」と意外な盛り上がりをしながら短冊は作られました。（自分の想いを表現するつてとても難しく、とても大切なことだと行事の度に感じています）。少しだけ紹介をしましよう：「カープ優勝」「今年は広島優勝」こつちも「絶対優勝」：友の家つて私設応援団？「健康第一」「みんながたのしく、くらせますように」「元気」仕事をがんばりたい」「ローナガはやく終わりますように」「世界平和」…素晴らしい！「美味しい物が食べたい 職員A」「旅行に行きたい 職員B」「新しい車が欲しい 職員C」…そうですね：

さて、フィナーレは欲望を：いや願いを届けるべく燃やすのですが、七月七日当日は雨。翌日には雨も上がり無事完了しましたが、平日水曜日。代表で一人寂しく見届けました。みんなの願い」とや素晴らしい希望が（職員のはじっちはもいいので）叶うように、チヨットずつ前に進めるよう一緒にがんばりましょう！



あゆみ苑成人寮
山下 和朗

あゆみ苑成人寮では、八月六日に夏祭りを行いました。コロナの影響もあり、規模を縮小しての開催となりましたが、「コロナに負けるな！楽しもう夏祭り～～守ろうソーシャルディスタンス～」をスローガンに、配慮をしながらも楽しく元気に行ないました。

最初は玄関で開会式を行い、歌を歌つたり、ファッショングランプリをしたりと、大盛り上がり！ 昼からは、食堂、多目的室でうどん、からあげ、ゼリーといったボリュームのあるご飯を食べ、パン食い競争やお化け屋敷といった夏ならではの出し物を回り、トキドキと笑いに溢れた楽しい時間を過ごしました。最後に閉会式でダンスを踊り、お楽しみのくじ引き大会をしました。枕やカーパグッズ等いろいろなものが当たった。利用者さんは笑顔でピースされていました。

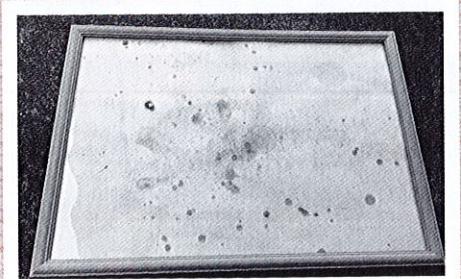
コロナが終息する気配はまだまだ見えませんが、コロナに負けず、これからも元気で健康に過ごしてもらいたいと思います。

サポートセンター 友の家

あゆみ苑成人寮

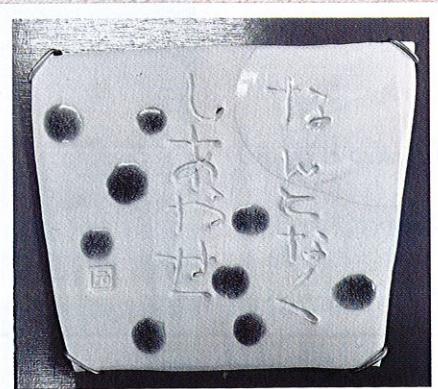


須賀康博「普通列車」



岸田一「春が来る」

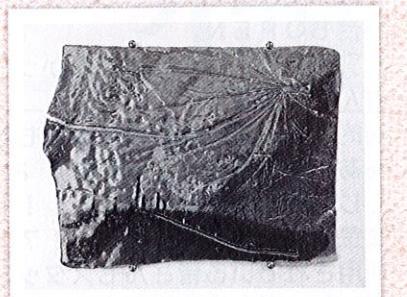
～作品紹介～



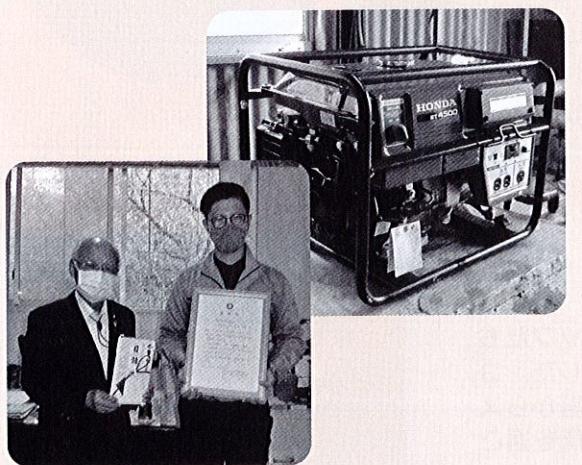
元脇敏彦「なんとなく、しあわせ」



竹迫徳久「一心」



西原亮子「海の中から」



事務局 田中 創

「発電機」を寄贈していただきました。

ありがとうございました (2020.7.1~2020.9.30)

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。
(敬称略・順不同)
*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

- ボランティア
- ご寄贈
- ・関係者3名

実習生・交流

保育士	7月11日~10日間	福山平成大学	1名
	7月14日~10日間	福山平成大学	3名
	7月20日~13日間	広島福祉専門学校	3名
	8月1日~12日間	安田女子短期大学	3名
	8月11日~10日間	ノートルダム清心女子大学	2名
	8月17日~10日間	岡山短期大学	1名
	8月21日~10日間	ノートルダム清心女子大学	2名
	8月29日~12日間	安田女子短期大学	3名
	9月10日~10日間	広島文教大学	2名
	9月19日~11日間	安田女子短期大学	3名

今後の予定

全体

11月23日…勤労感謝の集い

福山六方学園

- 10月…ハロウィン
- 12月…クリスマス会
餅つき
- 1月…初詣

あゆみ苑

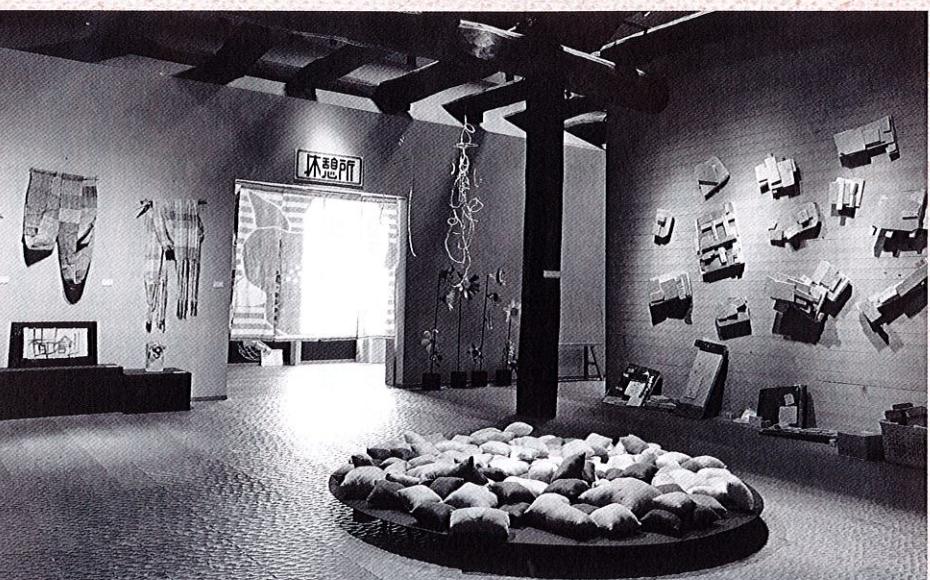
12月…クリスマス会

友の家

- 10月…GH交流会 ふうりんの集い
- 11月…GH交流会 感謝の集い

鞆の津ミュージアム

第16回 FUKUROKU ART はじめまし展



七月二十五日に開幕したFUKUROKU ART 第十六回「はじめまし展」は八月三十日で無事閉幕しました。本展は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本来予定していた三月には開催できず、長らく延期となっていたものでした。会場となつた鞆の津ミュージアムでは、来館されるお客様にマスク常時着用や手指のアルコール消毒、検温と連絡先のご提供など、いくつかの予防対策のためのお願いをするという前提で営業を再開。感染の不安は続いていますが、夏休みやお盆にかかること、あってか、来館者には恵まれました。展示だけではなくグッズ販売も好調でしたので、今後あらためて様々なグッズ開発を進め、みんなの表現活動を楽しくお伝えできる場にもできればと考えています。

鞆の津ミュージアム 津口 在五

この度の第十六回はじめまし展に、ONE・すべてっぷを利用している子ども達の作品を、初めて出展しました。活動の中でできあがつたものや、活動以外の時間に自由に描いたり、作ったりしました。六人の子ども達の八つの作品が、法人内の他の事業所から生み出されたたくさんの作品と共に展示されました。ONE・すべてっぷを利用している子ども達の保護者の方々は、「いろいろと作るのが好きなので、いつかそれらを集めて個展をしてあげたいと思っています。」とおっしゃっていました。本人もとても満足そうでした。「我が家が絵が飾られているのを見ると、感慨深い気持ちになります。」とおっしゃっていました。毎回はじめまし展の案内はしていますが、今回は出展した子ども達の保護者には、「ぜひ見に行つてください！」といつも以上に強くご案内しました。実際に見に行かれた保護者に、その時の感想を聞かせていただき、「我が子の絵が飾られているのを見ると、感慨深い気持ちになります。」とおっしゃっていました。このような機会は初めてだったので、とてもありがたく思いました。額に入れてきれいに飾つてもらいたい、子どもも嬉しそうでした。ポーズをとり、絵と一緒に写真を撮りました。」出展しているのでぜひ！と案内しましたが、残念ながら見に行けなかつた保護者の方からは、「家族で見に行きました。このような機会は初めてだったので、とてもありがたく思いました。額に入れてきれいに飾つてもらいたい、子どもも嬉しそうでした。」とおっしゃっていました。POーズをとり、絵と一緒に写真を撮りました。皆さん、今回の出展を嬉しいと感じてくださり、子ども達も十分が作つたものが飾られている喜びを感じられたようで、私たちスタッフも嬉しい気持ちになりました。このような機会を作つていくことは、今後の製作意欲に繋がりますし、もしかすると卒業後進路にも繋がっていくことになるかもしれません。次回のはじめまし展には、もっとたくさんの作品を出展したいと思っています！ONE・すべてっぷの子ども達の作品を楽しみにしていてください！！

ONE・すべてっぷ 中常 克彦

ONE・すべてっぷも出展しました